

# 新しい教科書の「問いの構造」

新しい教科書では、**問いを構造化**することで**内容のまとめりでの授業**がしやすくなっています。各時間の「学習課題」を積み重ねて「章・節の問い」を解決する構造になっています。教科書の問いに沿って授業を進めていくことで、**主体的・対話的で深い学び**を実現することができます。

導入ページ

## 単元を貫く問いを立てる

導入ページで、単元を通して追究していく「単元を貫く問い」(章・節の問い)を立てます。

P.38-39

身近な事例を題材としたまんがによって、その章の学習内容に関心をもたせるとともに、活動を通して章や節の問いを立てたり、学習を見通したりすることができます。



## 第1章 個人の尊重と日本国憲法

? 第2編第1章の問い

私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

**注目!** 「単元を貫く問い」で、授業をデザインする  
内容や時間のまとめりにより構成された授業をデザインすることで、主体的・対話的で深い学びを実現できます。

? 第1節の問い

? 第2節の問い

? 第3節の問い

## 第1節 法に基づく政治と日本国憲法

? 第1節の問い

なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのでしょう。

### 1 私たちにとっての政治と民主主義

**学習課題** なぜ政治は民主主義によって行わなければならないのでしょうか。

**確認** 民主主義とはどのような考え方が、本文からぬき出しましょう。

**表現** 多数決において少数意見の尊重が大切な理由を説明しましょう。

### 2 法に基づく政治と憲法

**学習課題** なぜ立憲主義による憲法は必要なのでしょう。

**確認** 立憲主義とは、どのような考え方が本文からぬき出しましょう。

**表現** 民主政治で、法の支配と権力分立が大切な理由を説明しましょう。

### 3 日本国憲法の制定と三つの基本原則

**学習課題** 日本国憲法はどのような歴史と特徴をもつ憲法でしょうか。

**確認** 日本国憲法の三つの基本原則を、本文からぬき出しましょう。

**表現** 日本国憲法が三つの基本原則を採用した理由を説明しましょう。

? 第1節の問いに答えよう

憲法とはどのような法で、何をしばっているのでしょうか。人の支配ではなく、法による支配が必要である理由を、歴史もふまえて考えましょう。

? 第2編第1章の問い

私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

**注目!** 内容のまとめりで評価ができる  
主体的に学習に取り組む態度を含む評価ができる紙面構造です。

## 章の学習をふり返ろう

主体的に学習に取り組む態度

ポートフォリオに、学習を始める前と比べて、考えが変わったことや新たにわかったこと、考えが深まったことを書きましょう。そして、これからの学習や生活に生かしていきたいことや、考え続けていきたいことを書きましょう。

本文ページ

## 学習課題を追究する

導入ページで立てた問いの解決に向けて、本文ページに設定した各時間の「学習課題」と、それに対応した「確認」「表現」の問いに答えます。

P.40-41

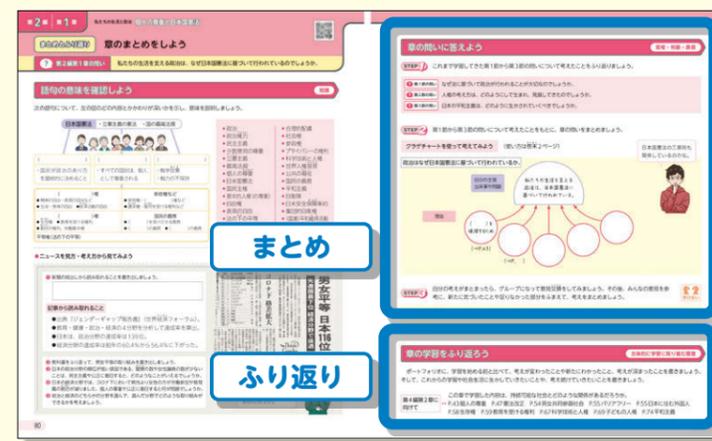


まとめ・ふり返りページ

## 単元を貫く問いを解決し、ふり返る

学んだことをまとめ、「節の問い」について考えたことを手がかりに「章・節の問い」を解決します。最後に単元の学習をふり返り、次の単元へ進みます。

P.80-81



# 問いを立て、学習を見通す導入ページ

各章の導入ページは、生徒たちが主役になったまんがによって、各章の学習関心をもたせて、身近な場面から章の学習内容に関する問いを考え、「章の問い」を立てる流れになっています。また、立てた問いの答えを予想することを促して、その後の学習の見通しをもつことができるようになっています。

第1～4編 章の学習

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

**注目**  
章と節の問いの関係

「節の問い」を考察することを繰り返して、「章の問い」の解決できるようになっています。



「学習のはじめに」掲載箇所

編章	大単元	タイトル	教科書
1編1章	現代社会	ある日のお買い物	P.6-7
1編2章	見方・考え方	地域の公園づくりに参加しよう	P.24-25
2編1章	憲法	文化祭の出し物を決めよう!	P.38-39
2編2章	政治	政治ってなんだろう?	P.82-83
3編1章	市場経済	ハンバーガーショップから見る経済のしくみ	P.128-129
3編2章	財政	政府の仕事を見つけてみよう	P.170-171
4編1章	国際社会	チョコレート王国	P.188-189

第2編 第1章 私たちの生活と政治 個人の尊重と日本国憲法



**どんな学習をするのかな?**  
もし、話し合いがまま、多数決を行っていたら、文化祭の出しものは何になっていたでしょうか。また、最初から話し合いや多数決を行わず、先生や学級委員の意見だけで、出しものを決めたとしたらみんなは納得できたでしょうか。これらは、個人の尊重や政治の基本的な考え方といった憲法が定める内容とかがわっています。この編では、憲法がこうした内容を定めることで、どのように社会の秩序を守り、私たちの安全で幸福なくらしを保障しているかを学習しましょう。

●この章で主に働かせる見方・考え方  
対立と合意 平等と公正 民主主義 法の支配と個人の尊重 など

**気づいたことを出し合おう**  
Q1. まんがのなかから、民主主義や人権とかがわかると思う内容を出し合おう。また、どのようにかわるか理由を考えよう。  
Q2. 話し合いがなければ、学級会の時間は短くできました。時間がかかっても、みんなの意見を聞くのはなぜでしょうか。

みんなで話し合うのは、対立から合意を導くための大切な方法だったね。  
先生や学級委員の意見というだけで出しものを決めるのは、私も変だと思うよ。  
8コマ目の生徒が言おうとしていた意見は何だったのかな?

学習のはじめに 文化祭の出しものを決めよう!



**第2編第1章の問いを立てよう**  
学級の話し合いは、この章の学習とどのように関係するでしょうか。出した意見から疑問を解決するための課題をまわしましょう。

**第2編第1章の問い** 私たちの生活を支える政治は、なぜ日本国憲法に基づいて行われているのでしょうか。

① 第1節の問い なぜ法に基づいて政治が行われることが大切なのでしょうか。  
② 第2節の問い 人権の尊重とはどのような考え方なのでしょうか。  
③ 第3節の問い 日本の平和主義は、どのように生かされていくべきでしょうか。

**学習の見通しをもとう**  
第2編第1章の問いに対する疑問や答えの予想を、ポートフォリオに書きこみましょう。

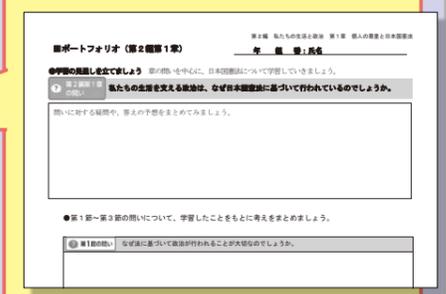
まとめ(P.81)では、第2編第1章の問いに答えるための活動を行います。この問いを意識しながら、学習を深めていきましょう。

指導と評価の一体化  
主体的に学習に取り組む態度

④の活動を行い、学習後に改めて自分の考えを書きこむことで、生徒が学習の見通しを立て、学習後に自分の考えの変容をふり返ったり、教師の授業改善につなげたりできるようにしました。主体的に学習に取り組む態度の評価もできます。

**注目**  
ポートフォリオ

生徒の見通しとふり返りの活動に役立つポートフォリオのデータを教科書QRコンテンツとしてご用意しています。



ポートフォリオ(第2編第1章)

**1 学習のはじめに ~導入まんが~**  
章のはじめに、章の学習内容と生徒の生活を結ぶまんがを採り入れることで、学習に取り組みやすくなるように工夫しています。

**2 気づいたことを出し合おう**  
まんがをふまえて、協働的な学びを行う「学びあい」アイコンを設けて、章の学習への意見や疑問を出し合い、学ぶ意欲を高めます。

**3 第○章の問いを立てよう**  
②の活動を通して出てきた意見や疑問をふまえて、章と節で追究する問いを立てます。

**4 学習の見通しをもとう**  
章の問いに対する疑問や答えの予想をポートフォリオに書きこみ、これからの学習を見通します。

資料の活用や、話し合いなどの活動から深く学んでいけそうだね。



# 1 指導と評価の計画に基づいた教科書づくり

## 授業や生徒の思考の流れを重視した本文ページ

①指導と評価

②デジタルへの対応

③主権者の育成

④わくわくする教科書

学習上の配慮

分野・教科間連携

地域事例

資料編

本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」「表現」コーナーを設け、「章・節の問い」に答えるための手がかりとなるように工夫しています。

### 第1～4編 章の学習

### 導入ページ

### 本文ページ

### まとめ・ふり返りページ

#### 1 導入資料

本文ページの導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

#### 2 学習課題

本文ページで何を学んでいくのかを示しています。この課題を考えながら、学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる



#### 見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示しています。

#### 資料活用

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。

#### 第○節の問い

節のまとめりで追究する問いを1時間の学習でも意識しながら取り組めるよう示しています。

#### 連携コーナー

地理や歴史の学習とのつながりを示し、知識を関連づけることができます。

#### 評価

#### 指導と評価の一体化

#### 知識・技能、思考・判断・表現

「確認」は知識・技能、「表現」は思考・判断・表現に対応しており、評価に活用していただくこともできます。

#### 確認

#### 表現

学習課題に対応し、本文ページの学習を確実にする問いを示しています。学習の最後に取り組むことができます。

1時間の学習をふり返る



身につけた知識を活用して、学習課題を解決していける紙面になっています。

#### 二次元コード

読み込むことでその見開きにある教科書QRコンテンツを参照することができます。見開きタイトルとセットで示しています。→本冊子P.16参照

#### タブレットマーク

このマークのついた教材は、二次元コードを読み込んだ先のwebページにある教科書QRコンテンツで、学習を深めることができます。→本冊子P.16参照



#### アクティビティ

具体的な事例や資料を読み取り、「見方・考え方」を働かせて、主体的・対話的で深い学びの視点から授業を行うことができます。



対話的な活動など協働的な学びに関連した箇所を示しています。



SDGsと特に関連する箇所を示しています。

#### 3 本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

#### 4

表

家事・育児合計時間	育児183	家事233	その他	合計
461分	45	189	215	2001
447分	43	189	215	2006
461分	44	202	215	2011
454分	42	225	187	2016
448分	36	234	178	2021

図表: 性別にかかわらず選べるようになった中学生の制服(2021年、高知県高知市) 性の多様性、男女の衣服の固定観念、機能性といった観点から、女子生徒が制服にスラックスを選べるようになってきています。

図表: 子どものもつ夫婦の1日の家事と育児の時間(社会生活基本調査) 2022年) 育児休業取得率は女性85%、男性14%、取得日数は女性10か月以上70%、男性5日未満28%です(2021年)。

図表: パートナーシップ制度(2022年、福岡県) 性の多様性を認め合い、性的指向や性自認にかかわらず、安心して生活できるように、自治体が独自に戸籍上同性のカップルに対して「結婚に相当する関係」として、サービスや社会的配慮を受けやすくする制度です。

見本: 福岡県パートナーシップ宣誓制度実施要綱の制定に基づき、パートナーシップ宣誓書の提出を受けたため、本証を交付します。

図表: 合理的配慮の提供

図表: ユニバーサルデザインの製品

図表: 指差しコミュニケーションボード(福岡県糸島市) イラストを指差して意思を伝えます。

図表: 障害者差別解消法の具体例

#### 4 共生社会をめざして

学習課題 私たちの社会は、平等に関する課題にどのように取り組んでいるでしょうか。

見方・考え方 個人の尊重

性別のちがいが、障がいの有無、国籍のちがいで、個人の尊重に着目して考えましょう。

賛成

- 姓に関する各種の変更手続きが不要
- 結婚・離婚等のプライバシーが保たれる
- 自分の字を失わなくて済む
- 多様な生き方を認められるようにすべき

反対

- 戸籍に基づく制度の見直しが必要になる
- 通称の使用を拡大すれば対応できる
- 日本の伝統文化がなくなる
- 家族としての一体感がなくなる

夫婦別姓 法律で夫婦同姓が定められていますが、日本では夫の姓を名乗ることがほとんどです。しかし、夫婦別姓を希望する人は、法律婚による税や相続などの面で不利な扱いを受けます。資料活用 夫婦別姓について、あなたはどのように考えるでしょうか。

性の多様性を認める社会

性のあり方は人によってさまざまです。生物学上の性別と、自分自身の意識する性別がちがう人もいます。また、好きになる対象が同性に向いている人もいますし、関心のない人もいます。自分の性について表明するかしら

外国人とともに作る社会

日本には約280万人の外国人が暮らし、170万人をこえる人が働き、日本の社会・経済活動を支えています。その国籍や文化、宗教などはさまざまですが、同じ社会で生活をしているのですから、相互に認め合ってくらす社会をつくる必要があります。そのためには、日本語教育や外国人の子どもへの教育を充実させ、また、労働環境の整備や、健康保険などの社会保障のしくみを改善するなどの環境づくりが不可欠です。社会は、障がいのある人や、性や国籍などが異なるさまざまな人で構成されています。それぞれが、その人らしくくらしをきずいていくことを実現するインクルージョンの社会が求められています。

世界では、多様な文化や民族がどのように共生してきたかをふり返りましょう。

問いを解決し、学びをふり返るまとめ・ふり返りページ

まとめ・ふり返りページでは、習得した知識を確認した後、「章の問い」に答える活動を行います。  
また、ポートフォリオを用いて学習をふり返ることで、学びの自己調整ができるようになっています。

第1～4編 章の学習

導入ページ

本文ページ

まとめ・ふり返りページ

1 知識の確認

単元で学習した内容について、**キーワードに沿って確認**して知識を整理するとともに、知識を定着させることができますようになっています。

知識を評価する

●「知識」をまとめる問い

「語句の意味を確認しよう」で、章の学習全体のしくみ図などを使って知識の整理を行い、「ニュースを見方・考えから見てみよう」に答える形に統一しています。



注目の現実の課題に見方・考え方を生かす

「ニュースを見方・考えから見てみよう」では、実社会で起こった出来事を題材に、社会科で身につけた見方・考え方を生かすことができます。

生徒が学習のふり返りをするだけでなく、先生がどのように評価すればよいかわかりやすい構成になっています。



注目の思考ツールの提案

まとめ・ふり返りページの活動を含めて、教科書内ではさまざまな**思考ツールの活用**を提案しています。→本冊子P.32参照

また、思考ツールを端末上で操作していただけるコンテンツをwebサイトで公開しています。



サンプルはこちら



指導と評価の一体化  
観点ごとに活動を整理

まとめ・ふり返りページでは、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」それぞれの評価の観点に沿って活動を整理しています。

2 「章の問い」に答える活動

まとめの活動では、**思考ツールの提案**や、いくつかのステップに分けた活動を提示することで、**活動の流れ**がみえやすくなっています。

思考・判断・表現を評価する

●段階的に問いを考える3つのステップ

- STEP 1 節の問いを振り返る。
- STEP 2 思考ツールを使い、自分の考えを深める。
- STEP 3 意見交換を踏まえて、章の問いに答える。

3 学習のふり返り

最後に単元の学習をふり返る活動を設定しています。**自らの学びを自己調整したり、変容を見取ったり**することができます。

主体的に学習に取り組む態度を評価する

●主体的に学習に取り組む態度の評価ができる

導入ページから章の学習を通して使ってきたポートフォリオを、評価の資料とすることができます。

→本冊子P.9参照

中学校社会科のまとめのレポート作成に生かせるように、「第4編第2章に向けて」を設けています。



見開きごとに「見方・考え方」を働かせるための工夫

主体的・対話的で深い学びを実現するために、「社会的な見方・考え方」を働かせることができるように構成しました。本文ページでは、すべての見開きに「見方・考え方」を示し、「アクティビティ」では、アクティブラーニングの視点から、具体的な事例について、資料の読み取りや協働的な学習など「どのように学ぶか」を見すえて、教材を作成しました。

見方・考え方コーナー

すべての見開き本文ページに、学習課題の解決に向けて手がかりになる主な「見方・考え方」の例を示しています。

アクティビティ

ページの学習内容を具体化するイラストやグラフなどの資料をもとに、「見方・考え方」を働かせる問いを設け、主体的・対話的で深い学びを実現し、思考力・判断力・表現力を養うことができます。

「見方・考え方」は、すべての見開き本文ページに示しています。  
具体的な資料と問いで、見方・考え方を働かせるためには……

現代社会 (公民の学習全体)

●見方・考え方 効率と公正  
効率と公正の考え方を理解するとともに、公正な社会とはどのような社会なのかを理解しましょう。

P.30 「効率」と「公正」

政治

●見方・考え方 個人の尊重 法の支配  
刑事裁判のルールを、個人の尊重と法の支配に着目して理解しましょう。

P.106 裁判のしくみと人権尊重

経済

●見方・考え方 分業と交換  
流通と情報の関係を、分業と交換に着目して理解しましょう。

P.140 ものの流れと情報の流れ

国際社会

●見方・考え方 効率と公正 持続可能性  
エネルギー構成のあり方を、効率と公正、持続可能性に着目して考えましょう。

P.212 限りある資源とエネルギー

社会的な見方・考え方とは…

課題を追究するための視点や方法(考え方)のことで、現代の社会的な事象を読み解くときの概念的枠組みのことです。公民は、政治、経済、国際社会それぞれで主に働かせる見方・考え方があります。

公民の「見方・考え方」一覧

- 第1編 現代社会 対立と合意、効率と公正 (公民の学習全体にかかわる)
- 第2編 政治 個人の尊重と法の支配、民主主義
- 第3編 経済 希少性、分業と交換
- 第4編 国際社会 持続可能性、協働

注目

見方・考え方の理解のために

単元の最初の本文ページで、知識としての見方・考え方を丁寧に学習できる構成です。→本冊子P.10-11

〈例〉政治単元の見方・考え方「民主主義」の本文ページにおける説明

P.40-41

私たちにとっての政治と民主主義



民主主義とは

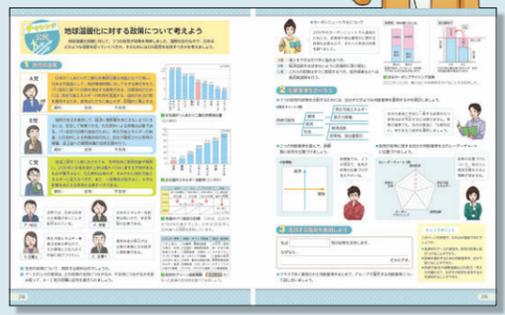
かつて国王や貴族等が政治を行っていた時代には、少数の人の意見や利益が優先されることがありました(専制政治)。しかし、人々がたがいに協力してより幸せに生活するためには、すべての人が、自由に意見を述べ、平等に政治に参加し、一人一人が公正に尊重されることが必要です。また、さまざまな見方や考え方をもつ人々が議論することにより、よりよい決定を行うことができるようになります。

このようにして、みんなのことはみんなで決めるという考え方を民主主義といいます。現在では、多くの国で民主主義に基づく政治(民主政治)が行われています。日本も憲法で、国民が、政治のあり方を最終的に決めること(国民主権)を定めています。

チャレンジ公民

→本冊子P.20-21

章末のチャレンジ公民でも、社会の課題を、見方・考え方を働かせて、考察・構想します



P.218-219 地球温暖化に対する政策について考えよう

授業におけるアクティブラーニングの支援

アクティビティは、対話的な学び・協働的な学びにつながるグループ活動など、様々な学び方を示して、授業を支援しています。前回教科書より増やして、41か所設けています。

グループ活動

学び合いマーク

アクティビティ ビッグデータと防犯カメラ

ビッグデータとは、人々の多様な行動情報を大量に収集したものです。政府や企業は、それらを分析して、社会政策や企業活動に活用します。例えば、防犯カメラの映像から人や車の流れを時間帯ごとに把握してまちづくりに使ったり、さらに個人を識別する技術で犯罪捜査に協力したりできます。一方、こうした情報を個人情報の一部と考えて、プライバシーの権利や肖像権の侵害、監視社会の問題も指摘されています。

①どのような場面で人々の行動情報が収集されるかを考えましょう。なぜその情報の活用がプライバシーの権利の侵害につながるのでしょうか。  
②防犯カメラをどのように設置するべきかについて、グループで話し合いましょう。

1 まちの防犯カメラ(東京都新宿区)  
2 事件発生(AIロビー)の防犯カメラ映像(東京都新宿区)  
3 防犯カメラによる事件の解決の例

P.63 社会の変化と人権保障—情報化と人権—

多面的・多角的な視点

アクティビティ 所得税と消費税の公正さについて考えよう

①もし所得税と消費税のどちらか一方を必ず増税しなければならぬとしたら、どちらを選びますか。②のグラフや、所得税、消費税について対立する意見を参考に、その理由を「公正」の語句を使って説明してみましょう。

③所得税の累進税率  
④消費税の逆進性(課税調査)2021年

所得税に関する意見  
消費税に関する意見

P.177 政府の活動を支える税と国債

身近な事例

生徒の関心を高める多くの事例

アクティビティ 効率と公正の考え方

①以下の3つの事例について、効率と公正の観点から、適切であるかどうかを考えましょう。  
②みんなの考えをもちよって、それぞれの事例が適切かどうかをグループで話し合いましょう。

事例① レジのらび方  
事例② ごみ置き場の決定  
事例③ 新型コロナウイルスのワクチン接種

P.31 「効率」と「公正」—見方・考え方その2—

注目

深い学びを実現する「見方・考え方」を働かせる問いを設けました。

資料活用

アクティビティ 公正な選挙について考えよう

小選挙区制  
比例代表制

①各政党の得票数を1、2、3の順で算出する。  
②(1)で得られた得票数が大きい順に、定数(ここでは3人)まで各政党に議席を配分する。

③比例代表制の議席配分の計算方法(ドント式)

④で、各選挙制度の死票(落選者に投票された票)は何票ですか。  
⑤で、もし当選者が4人なら、次はどの政党に当選者が出るでしょうか。  
⑥日本の選挙制度がさまざまな仕組みを組み合わせられている理由を、公正の観点から説明しましょう。

P.87 選挙の意義としくみ

しよみの理解を深めながら考える

対立する意見から視野を広げる

資料の読み取りから問いを始めるなど、設問を段階的にして、理解を深めながら考えていきます。